

「学習スキル」の育成と、学びの高まりを求めて

質の高い学びを求めて

平成23年度から、山形市教育委員会の研究委嘱を受けて「新しい価値に繋がる学びを育てる指導～言語活動を重視した活用型学習の工夫～」をテーマに学習指導方法の研究に取り組んでいます。新潟大学附属中学校をはじめとする数多くの実践を分析し、学習活動における言語活動の活性化と、活用型の学習展開による思考力・判断力・表現力の育成を目指して校内研修を重ねてきました。

これまで成果を上げた実践のひとつが、「4人グループ」の対話型学習活動を全教科共通で導入したことです。意見交換や集約、練り合い、教え合い等を少人数で実施することにより、一人ひとりの「生きたことば」を引き出すことができました。

自分の言葉で話すことが、思考力・判断力・表現力を育てる大切な要素であることを実感しています。



学習スキル育成プログラム

確かな学びを支える要素のひとつに学習スキルがあります。本校では、学習スキル育成プログラム『こまnaviタイム』を毎週水曜日に25分間、実施しています。身に付けた学習スキル(読む・聞く・話す・書く・比較・帰納・演繹など)の効果が、教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動等、あらゆる場面に波及することを期待しています。

豊かなことばで繋がる心

生徒会スローガン『繋』を掲げる本校では、地域からも高く評価される生徒の挨拶をはじめ、ことばの繋がりを大切にしています。生徒総会や全校集会、校内放送などに感情豊かなことばと心の繋がりが感じられるようになりました。

心の繋がりが部活動の躍進にも結びつき、東北・全国での活躍が続いています。



学びの丘の大家族

統合2年目

本校は、平成23年度に「旧酒田一中」と「旧酒田五中」が統合し新生酒田一中としてスタートしました。

学校目標「オンリー1 学びの丘の大家族～独り立ちしよう 共に生きていこう～」のもと、生徒498名、教職員42名が一丸となって、統合中学校の基盤づくりに邁進しているところです。



新たな伝統づくり「酒田祭への参加」

統合初年度から、新たな伝統づくりということで、全校生徒一人ひとりが個性ゆたかに作った「さるっこ」を山車の傘福に吊るし、酒田祭の山車行列に参加しています。校歌を歌ったり“酒一わっしょい”等オリジナルの掛け声をかけながら酒田市の中心街をねり歩き、新生一中大家族パワーを爆発させ、酒田市民に元気と団結力をアピールしました。



生徒会の地域貢献

「地域のために何かできないだろうか」この地域ボランティア活動は新生酒田一中生徒会の公約でした。生徒会と地域の方々との話し合いから、地域のひとり暮らしの高齢者のお宅に“絵手紙”と“笑顔”を届ける、“高齢者宅の除雪作業”という具体的な形で実現しました。子供たちと地域のかかわりの一つのモデルとして継続していこうと考えています。



運動会での親子のふれあい

本校の運動会では、統合により学区が広くなり、「子どもの顔や誰の親なのか分からない」の声から運動会に親子競技を取り入れました。保護者の方には、「最近はお近づきことも少なかったのが嬉しかった。子どもが大きく強くたくましく感じられた。

笑顔がいっぱい見られ楽しかった」などの声が寄せられました。

